

三和地区（美濃加茂市）

【地域の概要】

三和地区は、美濃加茂市の北部の中山間地域に位置する。山あいの地域であり、小学校の活動がきっかけで6月になるとゲンジボタルが飛び交う自然豊かな場所である。

元々、形状の良い農地が少なく、人口減少や住民の高齢化も進んでいることから、現在、農地に対する営農集落法人の設立に向けた協議を行っている。

取組開始前の状況や課題

農地の面積（2筆）3,161㎡

当該農地は、所有者が造園業を営んでいて販売用の苗木を植えていたが、所有者が死去した平成14年以降、農地がそれらの苗木によって森林化した。

現在は、イノシシが山から集落へ出入りするための経路となり、集落にある農地へも多大な被害を与えてきた。



▲ 作業前の農地

取組内容

県が毎年実施している「農地イキイキ再生週間（耕作放棄地解消活動）」が、今年度美濃加茂市で実施することとなっていたため、県と協議の上、当該農地を実施場所に決定した。また、地元住民にも声掛けを行った。

平成30年11月26日（月）および平成31年1月19日（土）の2日間で延べ約60名によって作業を行った。



この作業によって発生した樹木は、地元住民を中心に、多くの方が薪として回収してもらうことができた。

また、作業によって発見された（当該農地に放置されていた）重機は、農業委員の声掛けによって回収することができた。



作業の様子

今後の展開と方向性

当該農地における農地への解消は完了していない。また、農地の利活用の方向性は、まだ完了していない。

今回は、「イノシシが山からの出入口」を解消することを優先して実施したもので、本来、このような事業を行う際は、「解消後の農地利用」を明確してから実施した方が良く考えている。

今回、この活動を実施した農地は、所有者の承諾を得ながら地元住民と要協議し、活用方法を模索する。



←H301127中日新聞より

↑H310105岐阜新聞より

余談(お礼)

平成31年2月27日(水)に農政講演会を開催しましたところ、多くの農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局の皆さまに多数ご参加いただき、盛況のうち終了することができました。

ご多用の折、講演会への参加のご配慮も含め、お礼申し上げます。

【 ご講演いただいた 横田 友 秩父市農業委員 様 】 →

